

回 抜 討 権 八

帝キネ小阪映畫

原作者 小國比沙志氏
脚色及監督 廣瀬五郎氏
挿影者 湯淺正司氏

主要役割

平井 權八 市川百々之助氏

幡隨院長兵衛 尾上 紋十郎氏

唐犬權兵衛 市川 好之助氏

水野十郎左衛門 阪東 豊昇氏

玉家 小紫 山下 澄子嬢

解説——清水次郎長「第三篇を監督した廣瀬五郎氏の新作品である。」

略筋——平井權八は本庄助太夫を短慮一徹から斬り殺し江戸へ逃れた。助八、助七の兄弟は密に追跡して仇を討たんとした。權八は幡隨院長兵衛に助けられ長兵衛方に寄寓するうち玉家小紫と馴染み、長兵衛に誓つた本庄兄弟に立派に仇を討たれてやるさ云ふ言葉を破つて返り討ちにした。長兵衛から追放された權八は玉家に身を寄せて居るうち、長兵衛と水野十郎左衛門との争が激しくなつて、遂に長兵衛は水野に殺された。之を聞いた權八は恩人の仇を討たんとしたが、豫て多くの人を殺めた罪發覺し、遂に彼は吉原土手で小紫とともに自刃した。